

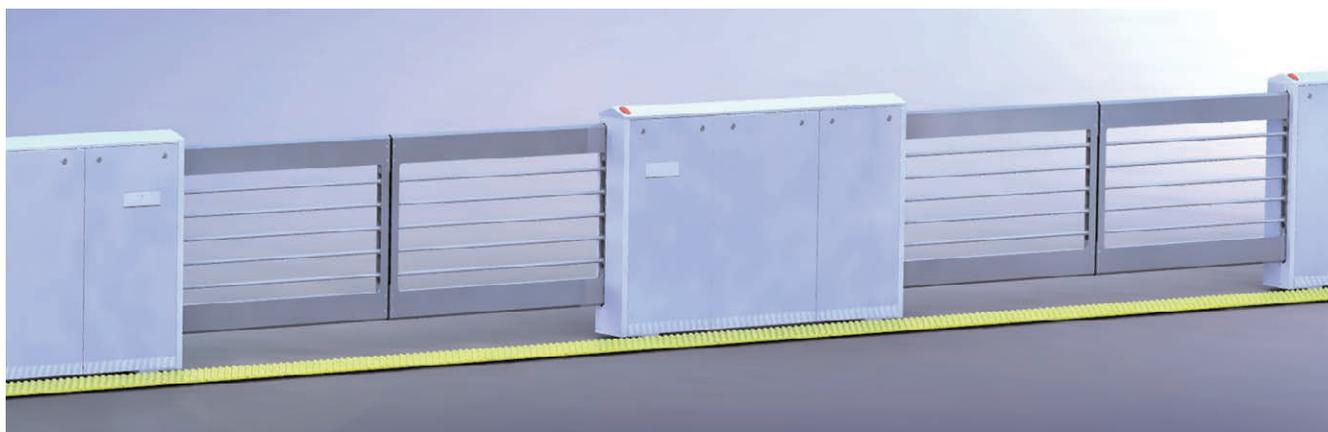
軽量可動式ホーム柵

Lightweight Partial-Height Platform Screen Door System

従来機と同等の強度・機能を実現した軽量可動式ホーム柵

軽量可動式ホーム柵は、従来品と同等のスペックを備えつつ、質量を約1/2に低減したもので、ホーム柵導入の際にネックとなる導入コスト（ホーム補強等）の低減が期待できます。

また、最大3400mmの開口幅を有しておりTASCなどの停止支援装置が設備されていない路線や多車種対応においても、適用の可能性が広がります。



特徴

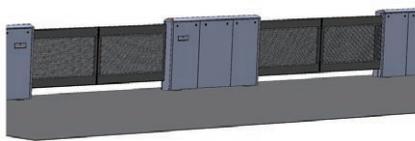
- 従来品と同等のスペックを備えつつ、質量を約1/2に低減出来ます。
- 最大3400mmの開口幅を有し、TASCなどの停止支援装置が設備されていない路線や多車種対応においても適用できます。
- 標準のパイプタイプに加え、ガラスタイプ、パンチングメタルタイプが選択できます。
- 実績のある従来の可動式ホーム柵と共通の付帯設備（総合制御盤、支障物センサ等）が使用できます。

軽量可動式ホーム柵のラインナップ

※質量は、軽量材料を使用した場合となります。



パイプタイプ(質量：約245kg)



パンチングメタルタイプ(質量：約255kg)



ガラスタイプ(質量：約281kg)

仕様

項目	仕様	
寸法	扉長(開口幅)	最大3400mm
	戸袋	幅2320×奥行200×高さ1300mm
質量	約245kg	
耐荷重	水平荷重	980N/m
	垂直加重	980N/m
	水平瞬間最大荷重	2450N/m
駆動装置	駆動方式	タイミングベルト
	電源電圧	AC200V
安全装置	支障物検知(居残り検知)、戸挟み検知、巻き込み検知、こじ開け検知、開閉予告、警報音、非常開ボタン、自動再開閉	

開口幅の仕様は、軽量可動柵の性能上実現可能な最大寸法を示しています。適用にあたっては、ホーム、車両等の条件により、最大寸法とならない場合があります。

